

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム寿生の家

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）
デイサービス

日時： R8年 1月 29日 15時00分～ 16時00分

会場： 寿生苑 会議室

出席者
(人数)

利用者代表	0人	有識者	2人
利用者家族	2人	高齢者あんしん支援センター職員	0人
地域住民の代表	2人	出雲市職員	1人
その他（事務長、管理者、介護リーダー）	3人		

1、利用者様状況報告（1月27日現在）

利用者数：桜棟9名 梅棟9名（男性1名 女性17名）

介護度分布：桜棟 要介護1：4名 2：4名 3：1名 4：0名 5：0名
梅棟 要介護1：3名 2：4名 3：1名 4：1名 5：0名

平均介護度：桜棟 1.7 梅棟 2.0 全体平均 1.8

平均年齢：桜棟 90.9歳 梅棟 90.8歳 全体 90.8歳（最高齢 105歳 最年少 84歳）

待機者：20名

入退所：12月に急な体調不良にて入院された方が入院のまま退所となった。
1月27日に入所1名あり

在所期間：1ヶ月～19年3ヶ月

2、活動状況報告

・毎月、家だよりを作成、送付している。行事の写真や日々の介護で起こるいろいろな場面のエピソードも載せている。ご家族に生活の様子を知っていただきたいと思い、頑張っている。ご意見等あればいただきたいと思う。

・環境整備担当の職員が日頃の生活の様子や行事の写真を壁に貼り出し、コメントなどを入れて楽しく見てもらえるようなものを作成している。玄関先なので面会の方にも見て頂いていると思っている。中には「この写真がほしい」と言われるご家族もあり、データで渡したりしている。

・利用者様と一緒にホールの壁に季節の壁画を作成している。ちぎり絵や折り紙、端切れアートなどでコツコツ作成している。病院玄関に作品展示も行っている。（ケアハウスと交代で）

普段の活動

ラジオ体操や棒体操、嚙下体操、リハビリ職からの助言のあった個別の取り組みも継続して行っている。この機能維持の取り組みはリハビリ職の方々からも「頑張っている」と言ってもらっている。桜棟はテレビ体操（YouTube）を見ながらの体操も空いた時間にされている。

家事作業全般、おやつ作り、縫い物、壁画作り（折り紙・ちぎり絵など）、歌、塗り絵、風船バレー等のレク、散歩や誕生会、書初め、買い物なども行っている。

行事報告

12月27日 餅つき

今年は普通のお餅とご飯餅、両方を作った。お餅は機械について、一口大のお餅に丸めた。飲み込みに不安のある方はご飯餅をついて同じような味付けで食べていただいた。以前はご家族にもご参加いただき、一緒について丸めてにぎやかに食事会を行っていた。いつかまたこういうことができるようになると、ご家族と職員との距離が縮まると思っている。

1月5日 正月会

昔のお正月遊び（福笑い、かるた）やおみくじや絵馬に願いを書いた。お神酒で健康を願い、ぜんざいを食べて和やかなお正月を過ごした。天気の良い日に万九千神社へ初詣にも出掛けた。

行事予定

2月3日 節分会

3月3日 ひな祭り会

3、感染対策等について

現在、利用者様にインフルエンザやコロナなどの感染は起こっていない。

面会について

現在、居室で3人まで、30分、小学生以下も可能となっているが、咳など体調の悪い方には面会をご遠慮いただいている。

4、実習受け入れについて

今年度、グループホームは出雲医療看護専門学校、島大看護学部の実習受け入れを行い、2月24・25日にも受け入れ予定がある。認知症を持っている方々がどのような生活をされているか、認知症の方へ職員がどういう支援や対応をしているか理解してもらおう目的が大きい。これまでの学生さんの感想は「楽しかった」「認知症の方が役割を持って笑顔で過ごされていた」「職員さんの対応を見て勉強になった」などが多かった。トリニティカレッジの実習については実習指導者講習会を受講した指導者が必要なため今後検討したいと思っている。

5、認知症実践者研修について

現在、認知症実践者研修に参加している職員がいる。久しぶりの参加でとても良い刺激になったのではないかとと思っている。

コロナ禍以降、外部研修への参加が減っていた。以前は年に最低1回は外部研修に参加しようという雰囲気があったが、現在はその意欲も低下していると感じている。今回の研修が周囲への刺激になっていくと良いと思う。

6、外部評価について

グループホームは2年に1度の外部評価を受けている。今年度は受けなければならないが、4月6日ということになった。運営推進会議で行うこともできるようになったせいも、評価機関がこの業務から撤退されているようで、今回依頼した（株）コスモブレインもそういうところの予定が急に入ってきたとのことで3月までは予定が詰まっているとのこと。料金も少し上がった。今後は検討していく必要がある。

7、介護職員募集について

これまであまり退職者がいなかったが、継続雇用や常勤からパートへの移行があるため、人員確保について検討中。良い方をご存じであればご紹介いただきたい。

8、意見交換

<市>外部評価は国が定めた評価で、最近運営推進会議で行われている施設も多く、2~3月に行われる施設が多い。事前に自己評価したものを評価する方に渡して次の会議の場で評価項目に従ってABCDで評価をしていく。一度にやらずに分けて行うところもある。時間的には1時間位だったと思う。

<管>来年度は自己評価のみで外部評価は免除になると思うので、その次の年度からは検討していきたい。以前、こちらでも運営推進会議で行う予定にした途端にコロナ禍となり、結局集まれないので評価機関にお世話になった。会議で行う場合は安心支援センターと市役所の両方の参加が必要だったと思う。

<有1>いつもとても頑張っておられると思っている。餅つきも躊躇されてなかなか施設でされないうが、無事終わって良かったですね。

<リ>今回は普通のお餅とごはん餅を両方作った。前回は飲み込みの悪い方が多かったのでごはん

餅だけで、杵でつくパフォーマンスをした。今回も機械で餅をつきながらパフォーマンスをしたので盛り上がったと思う。また、普段は“眠り姫”のような利用者様がとてもハッスルしてお餅をたくさん丸められた。

<有2>初めてグループホームの運営推進会議に参加されてもらった。日々、職員さんが工夫して活動されていると感じた。“以前は家族も一緒ににぎやかに行事をしていた”とのことなので、家族が自由に面会出来たり、地域の人や高校生がボランティアに来れたりと自由に入れるようになると思う。

<家1>いつも「利用者様のために」とか「利用者様の笑顔のために」と言って優しく対応してもらっていて喜んでいる。本人の笑顔もあるし、「ここは良いよ～優しいよ」と話してくれる。以前我が家は9人家族で、介護が必要になった時のために、と家族がホームヘルパーや介護士、栄養士、保健師資格などを取った。民生委員をしていた時は地域のために、と考えて訪問などを行ってきた。でも残念なことに自宅で介護することができない状況になってお世話になっている。今後ともよろしくお願ひしたい。

<管>ご家族が介護のためにとそれぞれが資格を取得されるということは本当に素晴らしいと思う。何か情報があれば提供してほしいと感じる。現在は外出や外泊なども行えるようになっているので、家族の時間をうまく持っただきたいと思う。

<家2>いつも職員さんにはイベントなどたくさん考えてもらっていて感謝している。本人は「家に帰りたい」という。でも連れて帰っても何もすることがなくてつまらない日常じゃないかと思うので、これからもよろしくお願ひしたい。

<管>ご家族の中で一番面会が多いと思う。面会時に散歩などをされていたこともあったと思うので、気候が良くなったらまたそういうことで一緒に過ごす時間を大事にしてほしいと思う。

<地1>外部研修はどこへ出かけておられたか？

<管>以前はたくさん案内があつて市の公開講座やその他の案内もあつた。グループホーム連絡協議会でも毎年研修と研究・症例発表などを行っていたので件数はあつたが、連絡協議会の活動は今全くなくなってしまっている。法人内での研究発表はあるが…。グループホームの全国大会もコロナ禍以前に京都で発表したのが最後となっている。グループホーム同士の職員交流や管理者の情報交換なども行っていたが、それもコロナ禍以降なくなっている。職員の意識としても以前は“年に1回は出なければ…”という意識だったが、最近はそのモチベーションも下がっているのは確か。WEB研修もあるが、なかなか参加できていない。

<地1>外部の研修や他の施設の取り組みなどを知ることはとても良い刺激になると思う。そういう機会を作ってみてはどうか？“井の中の蛙”にならないように。

<管>またモチベーションが上がるようにしていかなければならないと思っている。“作る”ことについては今後検討したい。

<事>認知症実践者研修は久しぶりの参加だった。申し込んでもなかなか参加できない研修だと思う。この研修の位置づけは？

<管>実践者研修は計画作成担当者には必須。他は個人のスキルアップが主な目的だったと思う。この研修の上にリーダー研修があり、この研修を受けていないとショートステイが受けられない。現在、リーダー1名のみが終了している。次は検討が必要。

<地2>インフルエンザやコロナなどの感染が増えていると聞く。対応は大変だと思うが頑張してほしい。

<管>気をつけながら頑張っていきたい。この度自家製のみかんをいただき有難く思っている。なかなか果物が高くて買えないので、大変助かる。また、昨年秋は柿が豊作だったので、いただいた柿をおやつにして喜ばれた。干し柿もたくさん作れた。周囲からのご協力をいただき本当に感謝している。

以上